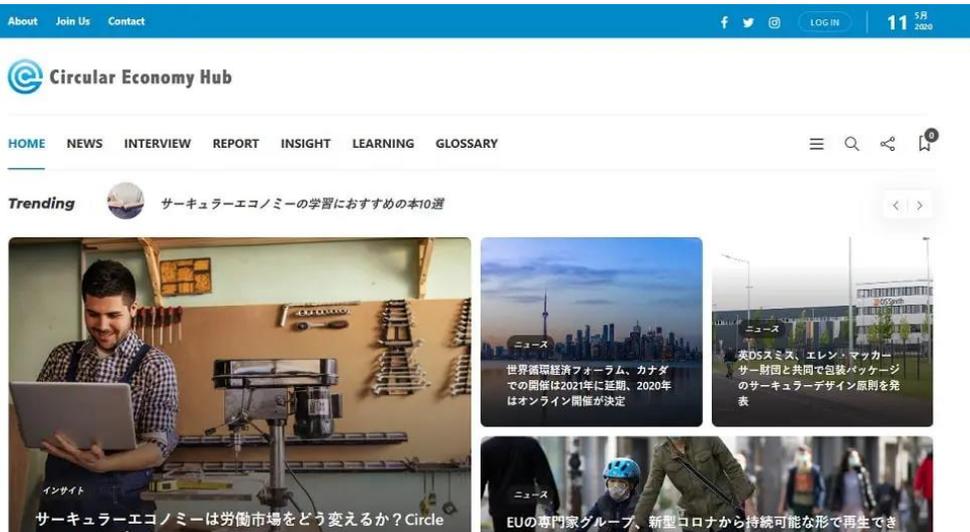


Circular Economy Hub

サーキュラーエコノミーを「学ぶ」「つながる」「取り組む」ためのプラットフォーム。
トレンドに流されず、サーキュラーエコノミーの本質を伝える。



Features : サーキュラーエコノミーの最先端を知ることができるメディア・プラットフォーム

2020年に開設したサーキュラーエコノミー（CE）専門のメディア・プラットフォーム。CEに特化した国内外ニュースや国内外現地編集部員によるレポートやインタビュー、独自視点によるインサイト・オピニオンなど、CE移行に必要な情報提供などを行う。また、CEに関する有料コミュニティも展開しており、CEに関心のあるあらゆる業界から参画した会員がSlack等を通じた情報交換やネットワーキングなどを進めている。

その他、蘭メタボリック社や米GreenBiz等とのコンテンツ連携による記事配信など、海外機関との連携にも力を入れる。Podcast「循環対話」やForbes Japanへの記事提供も実施。

Innovation : 企業や自治体向けにサーキュラーエコノミー移行支援サービスを提供

サーキュラーエコノミーへの移行を目指す企業や自治体、大学等向けに、サーキュラーエコノミー専門メディアの運営を通じて培った知見とネットワークを活かしたサーキュラーエコノミー移行支援サービスを提供。

Future : 各主体が連携しながらCE移行へ

今後、消費者も含めて、各ステークホルダーが連携し合いながらCE移行へ進めることが必須となる。その際に、共創領域と競争領域をどのように棲み分けていくかという視点に転換しながら、よりCE移行が進んでいくと考えられる。

Find VALUE ~みつける~

Circular Economy Hubでは、CEを単なるトレンドとして捉えるのではなく、何のためにCEに取り組むのか、その本質をどう伝えていくかという点を重視している。大量生産大量消費からの脱却、新たな社会システムをつかっていくツールとしてCEを位置づけ、情報発信と実践者同士のマッチング等を行う。

Create VALUE ~つくる~

「LEARN : 学ぶ」「CONNECT : つながる（共創・マッチング）」「ACTION : 取り組む（企業・自治体のサーキュラーエコノミー支援）」からなる、ToB向けの一連のコンテンツやサービス提供を通じて、各主体の行動変容も見据えながら企業や自治体等の事業開発につなげている。

Share VALUE ~つたえる~

母体であるハーチ株式会社は「IDEAS FOR GOOD」をはじめとして、9つのメディアを運営。Circular Economy Hubに関しては、日本国内にはCEに関する情報が当時は乏しく国内外で情報ギャップが生まれていたことから専門メディアを立上げた。CE実装に向けてCircular Economy Hubの情報価値を感じてもらい、記事をお読みいただいたり、コミュニティに参加していただいたりする流れが生まれている。



(「Circular X」で取り上げられたプラスチック)



(Podcast「循環対話」)

Player

ハーチ株式会社



インターネットやコンテンツの力を活かして社会がもっとよくなる仕組みが作りたいという想いを持つ仲間によって、2015年12月に創業。様々なパートナーの協力を得ながら、サステナビリティ・サーキュラーエコノミー・教育など幅広い分野でウェブメディアを企画・運営。